

# 千 草 会 報

題字 原あやめ

## ■目次

- 会長就任挨拶…………… 1頁
- 創立80周年 記念行事……………2～5頁
- 卒業生便り…………… 6頁
- 学院より(3年制について)…………… 7頁
- 学院ニュース/千草会賞…………… 8頁
- 学院ニュース/山脇ギャラリー案内…………… 9頁
- 研修旅行/就職…………… 10頁
- お知らせ/会計報告…………… 11頁
- 地域交流/千草会役員・委員…………… 12頁



# 22

年号

## 会長就任挨拶

千草会会長 片桐清子

この度、千草会より突然のお話しを頂き、お手伝いをさせて頂くことになりました。私は、洋裁師範科を卒業しまして、その後4年間学校に勤務しておりました。思い出していただけの方もいらっしゃるでしょう。：それから40年以上が経っています。久しぶりに学院を訪ねますと校舎は立派なビルに変わり、廊下には生徒さんのジュエリーやイラストなどが展示されており、こんな素晴らしい作品が作れる様になるのかとワクワクしました。これから数年間、学院に足を運ぶようになると思います。今、学んでいる若い人達の姿を通してパワーを貰い刺激を受けたいと思います。

近頃は時間の余裕が出来まして何十年もブランクでしたが、物作りを始めています。今 湘南の地に住んでおりますが、近くにはこの頃少なくなりました洋服の生地屋さん、そして古布を扱う着物のリサイクルショップ等があり、材料を手に入れるのには不自由しない環境にあります。洋裁・織物・小物作り・油絵等色々手を広げ楽しんでいきます。

山脇の教育方針・文化それらが今の私の生活に、また物を作る際にも、こだわりとして影響しているのではないかと思います。今回、会長という大役をお引き受けし、微力乍らお役に立てればと思っております。

### お変わりございませんか

梅雨明け前の西日本や中部地方では、集中豪雨による河川の氾濫や土砂崩れなど、大きな災害との報に接し、案じておりました。また、その後も大気不安定のための災害が続いておりますが、お変わりないことを願っております。

千草会



中庭 ジャスミンの緑のカーテンに美しく映えるアカメ

# ● 創立80周年記念行事 ●

平成21年11月1日

アルカディア 市ヶ谷 大雪の間

山脇80周年を記念して創立記念日である11月1日に、記念式典を挙行いたしました。当日は、来賓をはじめ招待者、卒業生、旧教職員、在学生、総勢200余名の方々が参列されました。

式辞 理事長 清水 カツ子

本日、山脇美術専門学院が創立80周年を迎えるにあたり、多くのご来賓の方々にご臨席を賜りまして、記念式典を執り行うことができませんことを、学校法人山脇服飾美術学院を代表いたしまして、心より厚く御礼申し上げます。

本院の歴史は、昭和4年に、その前身であります山脇洋裁学院に始まり、様々な沿革を経て、現在では、3学科を擁する美術の専門学校として、本年80年を迎えたのであります。

創立者、山脇敏子先生により確立された高度の服飾教育と、格調の高い獨創性あふれる教育方針が原あやめ先生へと、そして、現在に至るまでその根底に綿々と受け継がれて参りましたのは、一貫して、本院の建学の理念とするところの「真・善・

美」の精神に依る人間教育でありました。このことは、本日を大きな通過点としてこれから先も、伝統を守り続けていくことが、私達のゆるぎない使命でありますことは言うまでもありません。

本日、ここに、ご列席賜りました皆様、そして、これまで本院の歴史と共に時代を歩まれてこられた多くの方々からの、温かいご理解とご支援をいただきましたからこそ、現在の山脇美術専門学院の姿が現成していることをあらためまして、思いを深くするところであります。

まさに、本日の80周年は、本院の歴史と伝統を振り返り、その重さと輝きを学ぶ好因縁であると同時に、本院が未来へと更に躍進するための新たな第一歩でもあります。この良き日を、多くの皆様方に、ご列席



いただきまして、共に迎えられましたことを、重ねて、心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援、ご教示を賜りますよう、切にお願い申し上げます。式辞とさせていただきます。

## 祝賀同窓会パーティー

ビジュアルデザイン科 平成21年卒

北島 巳季

創立80周年記念というおめでたい行事に参加できましたことをとても嬉しく思っております。

仕事を始めて三ヶ月鬱々としていましたので、今回の制作は、閉塞感から解放されたような気がしました。実は、今年の卒業生の中で作品展に参加したのは私だけで……どうして? と思いましたし、特別優秀な生徒という訳ではなかったのですが、一点展(ビジュアルデザイン科の展示会)の頃は、何となく肩身の狭さを感じていました。…そんな私ですがとても楽しかったです。最後に開き直って、卒業生の代表のような気持ちで、搬入もパーティーもウキウキ心を踊らせていました。



祝賀同窓会パーティー 富士の間(東・西) 映像やスライドの映写のため、両サイドに用意されたスクリーン

パーティーには、他の用事で短い時間しか参加できませんでしたが、参加している方々を見て、山脇には沢山の卒業生がいらしてみんな山脇をつくっているのだなあーと実感しました。

今は、毎日仕事でヘトヘトになり情けない思いになる日もありますが、いつか個展を開催したり、デザインフェスタに出展するという目標に向かい諦めずやっついでいこうと思っています。

私にとって80周年記念作品展に参加できたことは、自分の将来を見つめ直す良いきっかけとなりました。ありがとうございました。

## 記念講演

黒澤 和子(映画衣装デザイナー)

映画監督 黒澤 明氏の長女



先ず、初めに黒澤組に入った経緯から話されました。黒澤監督の娘ではなく、チームの一員として認めてもらいたいために、人より早く現場に出て、人の十倍働いたことや、撮影現場への衣装箱の移動の苦労などを話されました。

その後、「雨あがる」の衣装デザイン画と共に、映画衣装に関わるエピソードの数々として下さいました。話の一つ一つへの、皆さんの反応もとても良く、記憶に残る講演となりました。

リビングアート科 昭和44年卒

木村 澄江

(旧姓 田中)

今年度80周年にあたり、作品展に出品、そして創立記念日には記念講演・祝賀会同窓会パーティーにも参加させていただきました。細部にわたり丁寧で温かい会となり、感激いたしました。お陰さまで幸せな時を過ごさせて頂きました。黒澤和子さんの講演も内容がとても楽しくイラストを交えた映画の世界のお話しは、とても印象に残りました。

作品展には長く続けてきました絵画が好評価を頂けるようになり、色々な作家の方々の作品を拝見し、お話しが出来れば……と思い、参加させて頂きました。

これからも卒業生として恥ずかしくないよう油絵を描き続けて行くつもりであります。又、このような出品の機会に巡り合えることができたら、是非参加させていただきたいと思っております。ありがとうございました。

祝賀同窓会パーティー

祝賀式後、広い会場「富士の間」に移り、祝賀パーティーが催されました。こちらでもご出席の方々の温かいお祝辞を頂き、会場も和みそれぞれのテーブルでもお話が弾み、旧交を温め、友好を深められたようです。

また、会場の2面のスクリーンには、極くコンパクトにまとめられた「学院の歩み」の映像、また「山脇敏子作品集」のきもの図柄は万華鏡タッチに、そして作品の数々は風車のように、くるくる変わる画像で紹介、作品につきましては、お手元の作品集でゆっくりご覧下さったことと思います。

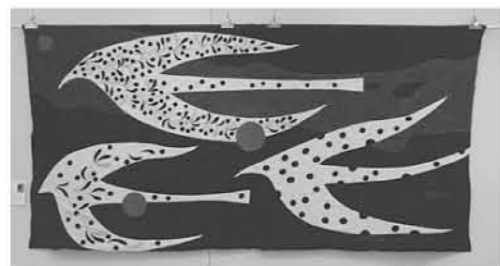
皆様と一緒に、和やかに楽しく、80周年の節目をお祝い出来ましたことに感謝いたします。



ファッション画 坂巻 かほる デザイナー養成科卒



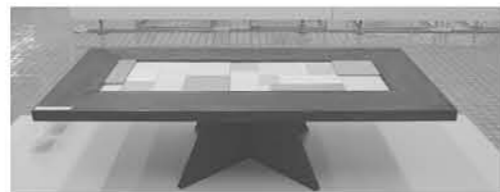
リース 河野 恵 ハンディクラフト科卒



手芸(アプリケ) オクダとし恵 デザイナー養成科卒



油絵 野村よしの 洋裁師範科卒



家具デザイン 永瀬 和也 インテリアデザイン科卒



手芸(カットワーク) 吉野 幸子 手芸高等科卒



立体 村瀬 明希 ビジュアルデザイン科卒

刺繍イラスト 松波 いつみ LA科デザインコース卒



ミクストメディア 加藤 優 ビジュアルデザイン科卒

写真集 北島 日季 ビジュアルデザイン科卒



イラスト 佐々木 淳 ビジュアルデザイン科卒

## 創立80周年記念作品展

平成21年10月31日(土)～11月7日(土)

80周年を記念して、旧服飾コース、現美術コースの作品を一同に会して展示会を開催。ポストカードに見られますように、50余名の方が参加、出品されました。

見学された皆様はもちろん、出品された方々も、互いの作品を目にされ感慨深く見学されたようでした。

千草会として、予てより、現、旧コースの合同作品展開催を願っておりました。これを機に、開催年を決めて続けたいと思います。



デザイナー養成科昭和33年卒  
旧ファッション画講師



## 坂巻 かほる

山脇80周年パーティー会場で懐かしい先生方や先輩後輩の皆さまにお会いした時、学院で学び、その後助手講師時代のユメイッパイだった頃の自分に戻り、既に50年近

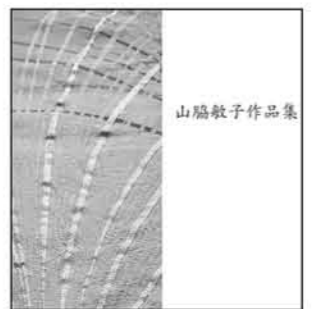
くも過ぎたとは思えない素晴らしい時間でした。

同席した皆さんも、その後のステキな人生を過ごされ、当時は生徒数が多くクラスが沢山あったことや提出物が大変だったなど当時の学院の様子を昨日のように話され学院で学んだ「それぞれの青春」を思い起こしていらっしやいました。

記念作品展への出展は、仕事以外に40年以上も描くことをしていなかった今の私に「もう一度描きなさい！」と後押しして頂いたような「大ショック」でした。10月迄にA1サイズは創立者山脇敏子先生のデザイン、もう一枚は今の自分を表現する「2作品」を描く決心をしてデッサンの基礎から始めた私：山脇学院の学生時代、美術講師山川武先生と宮内裕先生から「デザイン画のプロになりなさい」と言われ、必死に上を目指したあの頃といつの間にか同じ気持ちになっていました。偶然手元に残っていた60～90年代作品5枚と共に新しく描いた2作品を山脇ギャラリーに搬入展示した時は「ヤッター、次は個展ダあ」と：もう見ないであろうこんな「ユメ」を今回見せて頂き心から御礼申し上げます。

いつの日か又、山脇学院で皆さまとお会いする日を楽しみにしています。

## 山脇敏子作品集



創立者山脇敏子先生の作品を、80周年の記念として作品集にまとめ、刊行いたしました。作品集には、着物・ドレス・手芸作品など、約200頁に収録、山脇先生の大胆に、繊細に、且つ、のびやかな作風をご覧下さいませ。80周年祝賀同窓会パーティーにて、参加された方には贈呈いたしました。

※ご希望の方はお申し出下さい。ご送付いたします。お申し出の際、ご住所、卒業年・科名、又は封筒番号をお願いいたします。

広島県竹原市にて、山脇敏子先生の業績紹介「山脇敏子展」

開催期日 平成22年11月1日(月)～4日(木)

場所 竹原市民会館 3F

(竹原市役所 後ろ)

JR呉線 竹原駅から400m

竹原郷土文化研究会 主催



リビングアート科 卒業  
矢島 なほみ

昨年より、娘が山脇に通っています。課題が多く（変わりませぬ）大変と言いつつ、今までの学校の中で一番好きだそうです。

共学になり授業も専門的です。原先生も苦渋の選択をされたとつくづく思いました。時代に沿い、変える所は変えていかないと、大切なもの継ぐべきものまで無くしてしまうのではないのでしょうか。

先日八十周年記念式典で、山脇の素晴らしいお宝をはじめ拝見しました。山脇先生の発想は、今でも学ぶところがあります。また、あれだけ纏め挙げた映像を作り出すには、大変なご苦労があった事でしょう。とても感激しましたし、私のみならず、学生達にもいい刺激になったと思います。

山脇展では、千草会のコナーがあり、新旧の交流が微笑ましく見え、とてもいい雰囲気でした。先生方や環境の贅沢さは健在で、学生達も感じているのでしょう。私も感じ、そして多くを学ばせていただき、今の仕事や生活の中に役立っています。

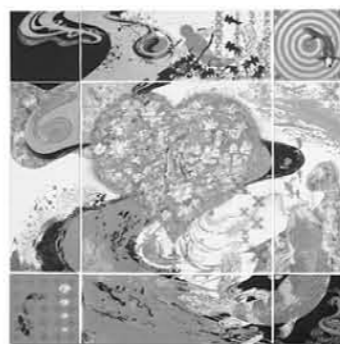
学生時代の先生方の多くは亡くなられて、お会いする事は出来ませんが、感謝の気持ちでイッパイです。私と同じような気持ちを持って下さるような、山脇の大切な宝を次に繋げてくださる方達を育てて頂きたいと、心より願っています。最後に、百周年式典を楽しみにしています。



ビジュアルデザイン科 卒業  
小林 健介

大切にしたいこと

僕は、卒業後3年間広告制作の仕事をしてきました。広告の制作業務には、原稿を書いたりレイアウトを考えたりするだけでなく、クライアントの要望を聞いたり、それを上司に報告するなど人とのコミュニケーションも非常に重要です。よい原稿ができ、デザインが優れていても、周りの人と上手くコミュニケーションが取れていないと、仕事をよい形で着地させられません。コミュニケーションの輪の中で、個々が誠実に仕事に向かった時、思った以上の結果が生まれ、大変勉強になりました。又、「職場には大体三様の人がいる」という話を聞いたことがあります。絶対にいい人ばかりではない人、いてもいなくてもいい人、いない方がいい人のことを指しています。それは、仕事ではなく、人としての有り様によって決まってくるそうです。これからの人生において職場や友人、仲間のなかでも、いつまでも必要とされる人でいたいと思っています。



小林 健介さんの学生時代の作品



ジュエリーデザイン科 卒業  
三上 沙織

ジュエリータウン 御徒町の宝飾制作の会社に勤めて、もうすぐ一年が経ちます。そこで私は、宝飾品のサンプルや原型制作・デザイナーとの打ち合わせをしては修正とデザイン画を形にする事の難しさを学ぶ毎日を送っています。

制作過程では、主に研磨作業を担当しています。全ての工程をこなすためには、多くの技術を身に付けなくてはなりません。まだまだ未熟な私ですが、落ち込まず前向きに考えられる様になったのは、厳しい転職活動があったからです。

山脇での充実した2年間の後、ジュエリー会社に就職し在庫管理の仕事をしていました。しかし毎日の仕事の中で、「どうしてもジュエリーの制作をしたい」という気持ちが抑えられず転職を決意しました。厳しいことは覚悟していましたが、不況の今、制作職に就くことは予想以上に困難でした。挫折と葛藤を繰り返した8ヶ月の間、私を支えてくれたのは、山脇の先生や同級生など沢山の人の支えとジュエリーを作りたいという強い想いでした。それがあつたから、諦めず前に進むことが出来ました。この転職活動の間に経験した全ては、これからの私にとって大きな糧となるはずで

念願の制作に携われていることに日々感謝しながら、仕事も私生活も精一杯の努力を心掛けていくつもりです。

## 平成23年度より「3年制のデザイン専門学校」へ変わります。

YAMAWAKI  
DESIGN  
VISUAL DESIGN SPACE DESIGN JEWELRY DESIGN



学院長 吉野真二

この改革は、山脇美術専門学院の更なる発展を目指して、実行しております。卒業生の皆様には、この改革にご注目頂きたいと思えます。又、これからも学院にご支援を賜りますようお願い致します。

※平成23年度に向けて、学校案内書とホームページを刷新しました。学校案内書 ご希望の方にはご送付します。  
ホームページ アドレス <http://yamawaki.ac.jp/> 山脇ニュースやブログなど見所も沢山あります。是非、ご覧下さい。

### 改革の目的

「専門能力」と「人間力」とを併せ持つ自立したスペシャリストを育成し、新しい時代の要望に応えられる人材を社会に送り出し、学院の社会的使命を果たします。

### 改革のポイント

- 授業時間数を増やし、4年制美大に匹敵するカリキュラムを組みました。
- ノートパソコンを支給し、学校外でも学習を可能にするなど、学習環境を充実させました。
- 学校内に無線LAN設備を新設し、インターネット環境を整備し、授業で使う情報や就職情報を入力しやすくしました。また、この設備を利用して能力の向上や補完に利用できる仕組みを計画しています。
- 卒業してすぐに役立つ就職講座を開設しました。

### ビジュアルデザイン科 40名

従来のグラフィックデザインと新しい潮流であるWebデザインを必須科目として学び、現代の広告業界に通用するカリキュラムを用意しています。さらに、イラストレーション、グッズ、パッケージなどの講座も充実し、専門能力向上と同時に観察力、分析力、提案力、コミュニケーション力の能力も習得します。

### スペースデザイン科 18名

スペースデザインの基本である「気持ちの良いリビングスペースデザイン」のデザイン手法を学び、それを発展、展開させ、様々なスペースデザイン手法を習得します。実務で役立つ構造、工法、材料、設備、法律、施工等の技術・知識もデザイン手法と連動して学び、より能力が向上します。ファニチャーデザインについても講座が用意されています。

### ジュエリーデザイン科 15名

ジュエリー制作に必要なあらゆる手技を習得するカリキュラムが生まれ、機械技術の及ばない日本伝統彫金や宝飾造形は独特の講座です。手技の習得とそのレポートがセットになって授業が進行して、理解が深まり役に立ちます。基本技術の習得後、得意分野での能力向上を目指します。少人数制による丁寧な指導、一人一人の専用彫金台は最大の特徴です。

## ● 学院ニュース ●

### 第26回 公募日本ジュエリーアート展

入選

(社)ジュエリーデザイナー協会/伊丹市立芸芸センター主催の「第26回 公募2010日本ジュエリーアート展」一般部門で、平成7年度に卒業した現在本校の講師の遠藤容子先生(宝飾造形担当)と、under26部門で、今年3月卒業した伊藤佳央里さんと新2年生の西島千尋さんが入選しました。「ジュエリーアート展」は隔年開催される公募展で、ジュエリーデザイナーの登竜門として知られ、国際的に活躍するデザイナーを輩出してきた歴史ある賞です。伊藤さんは、卒業制作のブローチを、西島さんは進級制作のネックレスを出品。作品は、東京、伊丹、名古屋、仙台にて順次展示され、ご覧になれます。

富永文記



伊藤佳央里 ブローチ



西島千尋 ネックレス

### 「ラフダイヤモンド メンズジュエリー」デザインコンテスト

入賞

国内外で宝石を使ったジュエリーやダイヤモンド・カラストーンのルース(裸石)の販売をしている諏訪貿易株式会社によるコンテストにジュエリーデザイン科2年生の2名が入選しました。

このコンテストには、学生・社会人を問わず117点の応募があり、その中でネックレスをデザインした安部里実さんが優秀賞を受賞。ネクタイピンをデザインした道山智子さんが佳作に入選しました。

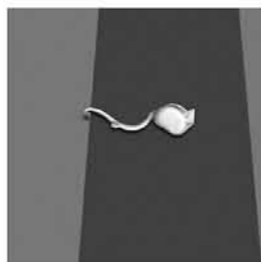
ジュエリーデザインの授業「レンダリング」と「レンダリングCG」の一環として、ラフダイヤモンドという珍しいテーマでデザイン制作に取り組み、コンペへの出品により一段とデザイン力がアップしたと実感しています。

※コンテストの全応募作品は、山脇ギャラリーで7月8日から7月14日の期間展示され、初日には、講演と実際に大粒ダイヤモンドに触れるセミナーも開催されました。

北村 静香記



安部里実 優秀賞



道山智子 佳作

### 襖絵デザイン コンペティション 2009

入選

インテリアデザイン科 2年 高 鍾範



和の文化を超越した、これからの住宅空間に斬新な襖のデザインを。

### 全日本学生建築コンソーシアム 2009 住宅設計コンペ

入選

平成22年卒業 インテリアデザイン科 五十部 嘉代



### ディスプレイ デザイン賞 2010

協会特別賞

平成22年卒業 インテリアデザイン科 小宮 美樹



メディアとして「駅空間」の可能性について。

## ● 山脇ギャラリー案内 ●

山脇ギャラリーは、開設から12年目を迎えるようとしています。

6月の「武田マサンド展」では、建築家の武田氏の絵画他の展示が、インテリアデザイン科の特別講義へ発展しました。企業主催のコンペティション発表の場としては、ジュエリーデザイン科も参加し、諏訪貿易ラフダイヤモンドメンズジュエリーデザインコンテストの展示が7月に開催されました。前回同様、雑誌「イラストレーション」の『ザ・チョイス大賞展』(1月)が予定されています。

8月の学生作品展以降、立体・イラスト・日本画等見応えのある展示が予定されており、旧講師の清水要先生の展示は、11月に開催されます。

詳しくは、4月にリニューアルした山脇ギャラリーのホームページをご覧ください。

### 写真展「素」

講師 鷹尾 茂 先生



2000年から今まで、大判カメラで撮影された学生のポートレートの中から、抜粋した作品の展示。天井から吊り下げられたモノクロの大判パネルが、静かな迫力と「無」の表情を感じさせるものでした。

### 第3回 糸魚川翡翠ジュエリー

アクセサリーデザイン画コンテスト

糸魚川賞 受賞



平成22年卒業 ジュエリーデザイン科 齋藤 香織

糸魚川特産の翡翠が美しく魅力的に引き立つデザインを。

### 第3回 宇和島パールデザインコンテスト

入賞



平成22年卒業 ジュエリーデザイン科 阿部 五月(上) 古屋 早織(下)

パールのフォーマルイメージを、おしゃれなパールの新たな可能性を目指して。

### 千草会賞

平成21年度千草会賞を受賞された方々です。佐藤紀子会長より、褒賞状と記念品として書籍が授与されました。

- ビジュアルデザイン科2年生 大井 梓  
池田 学展 リーフレット  
会田 誠 MONUMENT FOR NOTHING  
Takashi Murakami Prints
- インテリアデザイン科2年生 五十部 嘉代  
Beatrix Potter The Complete Tales  
アルフォンス・ミュシャ
- ジュエリーデザイン科2年生 伊藤 佳央里  
ジュエリー作品集 4冊  
(ブローチ・リング・イヤリング)



前回の「ザ・チョイス大賞展」オープニングパーティーの一コマ



福王寺 琉華 幸せの布 紅型展

### 9月以降のスケジュール

9/9~9/17	「バスケット展」	高宮 紀子	繊維等構造的造形
10/2~10/3	「山脇展」	山脇美術専門学院	
10/6~10/13	「ちゃかほい」	山岡 勝司	絵画・デザインほか
10/15~10/25	「第6回 イラストレーター協会展」		
10/25~11/8	「加藤 晋展」	加藤 晋	日本画
11/9~11/15	「清水 要展」	清水 要	絵画
11/16~11/22	「Tokyo Satellite展」	青柳 芳夫	絵画
11/24~11/30	「藤井 素子展」	藤井 素子	イラスト
12/1~12/15	「日韓国際美術展」	三輪 暁	絵画
1/7~1/19	「美の棲む処-ten×a展」	伊藤 行子	絵画ほか
1/28~2/20	「ザ・チョイス大賞展」	イラストレーション誌	
2/26~3/6	「卒業進級制作展」	山脇美術専門学院	
3/24~3/30	「My Tokyo(妄想と現実の間)」	萩原 隆	絵画

山脇ギャラリーホームページ上で、随時更新しておりますので、ご参考にして下さい。

平成22年5月27・28日の一泊二日3科合同で伊豆高原・三島方面へ研修旅行に行ってきました。一日目は各科の勉強に相応しい美術館見学や日頃教室では体験が出来ない陶芸や吹きガラスなどを体験しました。夕食後は、学生が企画したレクリエーションをし「全科で学年を越え、みんなと交流が持てて楽しかった。」と学生からの感想がありました。

二日目は伊豆の山々を望む富士山麓に位置するクレマチスの丘に行ってきました。そこは数多い品種のクレマチスの花が咲き誇っており、その風景と調和したイタリア現代具象彫刻家ジュリアーノ・ヴァンジ彫刻庭園美術館を楽しむことが出来ました。また、施設内にはIZUPHOTO MUSEUM、ベルナル・ビュフェ美術館、井上靖文学館をはじめ、庭園とレストランなどが一体となったランドスケープはどの科も楽しみながら今後の勉強になった事と思います。

福澤 清子 記



クレマチスの丘

● 研修旅行の一コマ ●



陶芸・ランプシェード作り体験  
型をぬく作業が思ったより大変！みんな無言で作業をしました。ランプをつけたら綺麗に光った。焼き上がった出来映えが気になる。



ガラス吹き体験  
夏はこれで冷たい物をぐいっと飲みたい！出来上がりの涼しげな透明感とは全く違う、赤く溶けたガラス。暑い〜。



トンボ玉作り体験  
水鈴のようなガラスを、夢中で回しました。初めてのバーナーワークで、みんな真剣そのもの。油断するとガラスが落ちる！

一昨年秋からの不況により新卒採用を控える企業が未だ多く、求人は激減しております。また新卒者に求められる能力も年々高まる一方です。専門能力だけでなく、近年の若者に不足していると指摘されるコミュニケーション能力、社会人基礎力も学校での修練が必要であるようです。昨今では、社会における仕事の意識の変化や、雇用形態、職業の多様化が進み、学生も様々な不安や悩みを抱えております。しかし、仕事を通して得られる、労働の楽しみや社会参加の素晴らしさに希望を抱き、就職活動に取り組んで欲しいと思います。

主な就職先(平成二十二年三月卒業生)

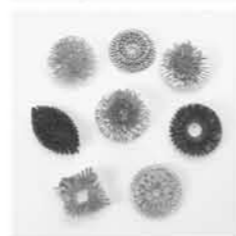
- (株)GMCトイズフィールド、(株)ガイア、
- (株)遠藤デザイン、(株)フリーダム8、
- (株)OTS、(株)ムラオ、(株)俄、他

追伸 千草会員の皆様からも、在校生の就職に関する情報のご提供をお願い申し上げます。

(学務課就職係 森田 03-3264-4020)

メールアドレス career@yamawaki.ac.jp

平成21年度 優秀作品



山脇展

平成22年10月2日(土)・3日(日)  
10:00~17:00

今年のテーマは  
「ピクトグラム(絵文字)」

ピクトグラムがどう使われるか、とても楽しみです。学生達のアイデアを見て下さい。もちろん、例年通り模擬店やオリジナルグッズの販売など盛り沢山のイベントも用意されています。

各科の個性光る作品も多数展示します。

専門学校美術展

平成22年10月12日(火)~17日(日)  
10:00~17:00

NHKふれあいホールギャラリー

都内、11校の美術/デザイン工芸/染色の専門学校が、1週間単位で展示をします。

山脇では、1・2年生の在学中の作品を展示します。

※都美術館の改修工事により、会場が変更されました

卒業進級制作展

平成23年2月26日(土)~3月6日(日)  
10:00~17:00

1年間の集大成として、1年生は進級作品、2年生は卒業作品を展示します。

学生達の心と力のこもった作品を是非ご覧下さい。

会場は山脇ギャラリーを使用して10日間開催されます。

オープンキャンパス情報

入学希望者の方を対象に、年間を通じてオープンキャンパスを開催しています。

「体験入学」

将来の職業を理解してもらうため、体験のコース内容は講義に即して設定してあります。全部で14のコースが用意されています。

「学校説明会」

入学に関する全てをご案内します。各科のカリキュラム・職業や入試・学費・奨学金・特待生制度などを説明します。昼間の参加が難しい方にイブニング説明会もあります。

ご家族やお知り合いで、デザイナー・クリエイター希望の方がいらっしゃいましたら、是非本校の3学科をご紹介します。



ウィンドウディスプレイの体験入学の様子



学校説明会の様子

千草会 平成21年度会計報告

入学時に納めて頂きました千草会の終身会費について、誌上で会計報告をいたします。

前年度繰越金...5,044,780

収入  
千草会費...1,020,000  
同窓会会費... 255,000  
利息... 1,580  
計 1,276,580

支出

千草会報 発行費...713,931  
山脇展 参加費... 72,105  
行事費  
(同窓会・卒業式)...539,808  
千草会賞... 36,402  
千草会員 展示 お祝い... 34,650  
通信費... 66,063  
委員会運営費...997,228  
備品購入費... 6,980  
その他... 33,802  
計 2,500,969  
次年度繰越金 3,820,391

講師・職員移動報告

●退職された先生

インテリアデザイン科

室田 理子先生

色彩

●就任された先生

インテリアデザイン科

森 美香子先生

色彩

ビジネスデザイン科

亀井 伸二先生

デザイン概論

長い間ご指導ありがとうございました

● 地域との交流について ●

赤坂日枝神社 山王祭 参加

赤坂にある日枝神社の「山王祭」が6月7日～17日に執り行われ、学院にもお祭りの賑わいが届きました。山王祭は「神輿深川 山車神田 だだっ広いが山王様」と謳われる江戸三大祭の一つです。

今年も九段四丁目町会の一員として、学院の門にも軒花を掲げました。

日頃は、多くの車両が行き交う靖国通りですが、11日昼には神幸行列が厳かに通りました。また、11日夜から13日夕方までの三日間は、神輿が粋な、はっぴ姿の若者に威勢よく担がれ、今年で神輿を担ぐのも三度目という職員の姿も見られました。神酒所に飾られた、光り輝く「獅子頭」は平成20年に大修復され、浅草から九段までの船渡御の際には、船の先端に飾られた龍頭を山脇の学生が制作しました。



学院玄関の門に飾られた軒花



船渡御の様子

「千代田区四番町こどもアート会議」

展覧会 開催

平成22年3月に、「千代田学」事業「地域コミュニティをつなぐアート・プロジェクトの実践と研究」の一環として山脇ギャラリーで「千代田区四番町こどもアート会議」展覧会が開催されました。

展示の作品は、自分たちの「街」が元気になるようなアイデアや作品を、小学校1～3年生の子供たちと、法政大学国際文化学部の研究生の学生が共同で制作したものです。

今回の展示を通じて、子供たちが自分たちの「街」を考えるきっかけとなればと、本学院も微力ながら会場提供という形で協力しました。



子供たちの作品展示

千草会役員 委員

- |       |            |        |
|-------|------------|--------|
| 千草会会長 | 片桐 清子      | 洋裁師範科卒 |
| 副会長   | 橋本 明子      | LA科卒   |
| 委員    | 吉原 美和      | LA科卒   |
|       | 植木 早苗      | HC科卒   |
|       | 谷山 要子      | FA科卒   |
|       | 大野 千佳      | LA科卒   |
| 学内委員長 | 福澤 清子      | ID科助手  |
| 委員    | 羽成 まどか     | VD科助手  |
|       | 曾我部 理沙     | VD科助手  |
|       | 北村 静香      | JD科助手  |
|       | 篠原 一郎      | 専任     |
|       | 桐井 英明      | 専任     |
| 在校生   | ビジュアルデザイン科 |        |
|       | 広瀬 茜       |        |
|       | 村田 慧太郎     |        |
|       | インテリアデザイン科 |        |
|       | 江原 由莉      |        |
|       | 大石 真由佳     |        |
|       | ジュエリーデザイン科 |        |
|       | 稲毛田 佳代     |        |
|       | 道山 智子      |        |

○現コース卒業の会員の皆様へ

今期、千草会会長ほか、新しいメンバーとなりました。後日、現コース卒の方々にもご協力をお願い致しますので、その節は宜しくお願い致します。

発行 山脇美術専門学院同窓会

〒102・0074  
東京都千代田区九段南4・8・21  
電話 03・3264・4020